

Sakana AI 「Fugu Max」 & 「Fugu Ultra v2」：AIオーケストレーションの革新

AI導入を検討する企業担当者、IT戦略コンサルタント、テック系投資家

2026年9月に発表された新モデルの性能差と、Sakana AI独自の「オーケストレーション（群知能）」戦略を簡潔に解説する。



Fugu Max：圧倒的な低コスト

他社の主要モデルと比較して、出力コストを40～60%削減することに成功。

入力価格 (/100万トークン)	\$2
出力価格 (/100万トークン)	\$6

Sakana AIは、自社で巨大な基盤モデルをゼロから作るのではなく、複数の既存AIモデルを「指揮（オーケストレーション）」することで、コストと性能の限界を突破する戦略をとっています。2026年9月、低コスト特化の「Max」と最高性能追求の「Ultra v2」を同時公開しました。

Fugu Ultra v2：GPT-6超えの性能

視覚推論等でGPT-6 AstraやClaude Fable 5.1を凌駕するスコアを記録。

入力価格 (/100万トークン)	\$5
出力価格 (/100万トークン)	\$30

Sakana AIの独自性と「ソブリンAI」戦略



学習された「オーケストレーター」
単一モデルではなく、各タスクを最適なモデルへ動的に振り分ける仕組み。



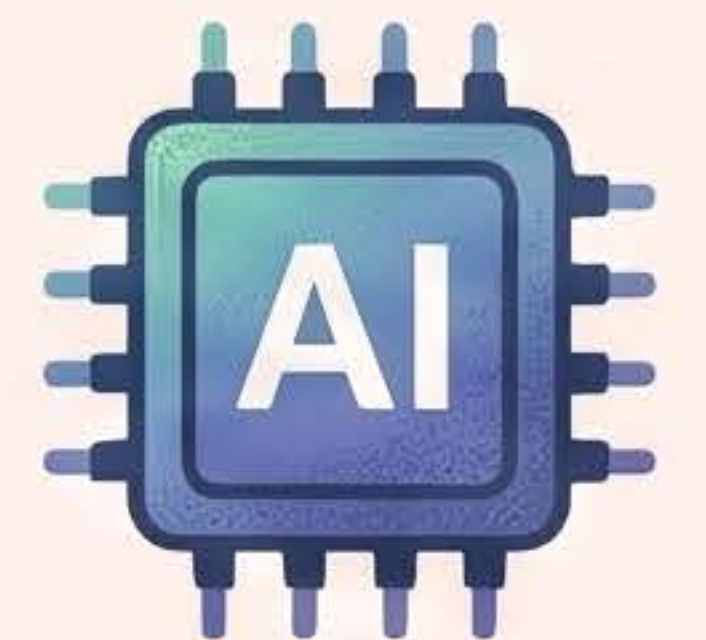
知財の「オープン＆クローズ」
特許はあえて出願せず、商標とライセンス、契約でIPを管理する独自路線。



APIで即座にアップグレード可能
OpenAI互換APIを提供。既存ユーザーはパラメータを1行変えるだけで移行可能。



知財の「オープン＆クローズ」
特許はあえて出願せず、商標とライセンス、契約でIPを管理する独自路線。



日本の「技術主権」への挑戦
他社モデルを賢く統合し、計算資源に依存しない日本独自のAI自立を目指す。